

令和5年度 上半期の教育活動を振り返って

福島県立湖南高等学校長

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、益々御清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、本校では、今年度の重点努力目標として、「生徒一人ひとりを真に大切にし、人間性の育成や能力の伸長と、地域から信頼され愛される学校づくり」を掲げ、教職員一同、目標の実現に向けて努力しているところでありますが、これまでの教育活動の検証を行うために、上半期の教育活動を振り返り、全校生徒及び教職員を対象にアンケート調査を実施しました。そのアンケートの調査結果は、以下のとおりですので、御参照ください。

なお、このアンケート調査結果から見えた課題の克服に向け、教職員一同、努力してまいりますので、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

【上半期 学校評価アンケート結果】

		生徒(%)			教員(%)			
		肯定的評価 (A+B)	昨年度 上半期	傾向	肯定的評価 (A+B)	昨年度 上半期	傾向	
重点1	1	学校生活は充実しているか	91.1	76.8	↑	100.0	100.0	—
	2	授業は分かりやすいか	89.3	82.1	↑	100.0	100.0	—
	3	朝の学習により学力は向上したか	67.9	69.6	—	84.0	87.0	—
	4	宿題や課題は提出したか	53.6	58.9	↓	88.0	63.6	↑
	5	家庭学習に取り組んだか	69.6	67.9	—	56.0	40.9	↑
	6	読書の習慣がついているか	48.2	30.4	↑	96.0	91.3	—
重点2	7	LHRや総合的な探究の時間には積極的に参加したか	89.3	80.4	↑	96.0	100.0	—
	8	進路に関する行事がなされたか	75.0	75.0	—	100.0	100.0	—
	9	個の特性を生かす進路指導がなされたか	51.8	55.4	—	96.0	100.0	—
	10	個の希望に応じた進路指導がなされたか	62.5	42.9	↑	96.0	95.7	—
	11	生徒は資格取得に取り組んだか	35.7	35.7	—	100.0	95.7	—
重点3	12	きちんとした服装や髪型ができたか	67.9	71.4	—	96.0	100.0	—
	13	きちんとした挨拶を行っているか	67.9	67.9	—	96.0	95.8	—
	14	学校の決まりや社会のルールを守ったか	82.1	87.5	↓	100.0	100.0	—
	15	部活動や委員会活動等に熱心に取り組んだか	82.1	73.2	↑	92.0	91.7	—
	16	毎日、清掃活動に取り組んだか	92.9	83.9	↑	96.0	95.8	—
重点4	17	『湖南高校だより』など、学校の配布物を渡しているか	69.6	67.9	—			
		『湖南高校だより』など、学校の配布物は学校の状況を伝えているか				100.0	100.0	—
	18	ボランティア等の行事に積極的に参加したか	80.4	66.1	↑			
		ボランティア等の行事は地域に貢献しているか				96.0	100.0	—
	19	湖南に興味・関心を持っているか	67.9	67.9	—			
		生徒は、湖南に興味・関心を持っているか				100.0	95.8	—
	20	湖南を理解しているか	80.4	69.6	↑			
		湖南を理解するための機会づくりをしているか				100.0	100.0	—
21	社会貢献の意欲を持ち、社会をより良くするための行動をしようと思う	76.8	71.4	↑				
	信頼される学校作りに努めているか				100.0	100.0	—	
22	コミュニティ・スクールとして湖南の特色を生かした学び・学校づくりをしているか	73.2	76.8	—	100.0	100.0	—	

※ 『傾向』の欄は、昨年度と比較して、5%以上増減があったものを矢印で表示している。

※令和5年7月実施

【アンケート結果分析】(No.は、質問番号)

- 1 生徒の「学校生活に満足している」との評価は91.1%と、昨年度同期比より10ポイント以上向上している。
- 2 生徒の89.3%は授業がわかりやすいと感じており、昨年度同期比より約7ポイント向上している。
- 4 宿題や課題の提出に関しては、昨年度同期比より生徒評価は約5ポイント下がっている一方で、教員評価は約24ポイント上昇している。背景には、生徒は指定された期日に提出できていないことと、教員は粘り強く指導し提出させているという意識の違いがあると考えられ、今後も継続的な指導と指定された期日提出の意識付けに努めたい。
- 5 家庭学習への取組に関しては生徒評価は69.6%、教員評価は56.0%であり、意識の差が約14ポイントあった。昨年度同期比より意識の差は改善傾向ではあるが、基礎学力の定着を図るためにも、家庭学習に向かわせる指導が求められている。
- 6 読書の習慣化については生徒評価は48.2%と昨年度同期比より約18ポイント向上している。
- 7 LHRや総合的な探究の時間等への参加、進路関連行事の取組については、生徒、教員ともに高評価である。
- 10 個に応じた進路指導に関して、教員と生徒の評価の差に大きな隔たりがあるが生徒の昨年度同期比は約20ポイント向上しており、これまで以上に生徒の特性や発達段階に応じたきめ細やかな指導に努めていきたい。
- 14 生徒の82.1%と昨年度同期比から5.4ポイント後退しており、規範意識のさらなる向上に努めたい。
- 15 生徒の82.1%、教員の92%が部活動や委員会活動等に熱心に取り組んでいると回答しており、どちらも昨年度同期比から上昇していることから、積極的に学校生活を送る生徒が増えている。
- 16 毎日の清掃活動の取組については生徒は92.9%、教員は96%と昨年度同期比より向上している。引き続き、清掃活動や美化活動に対して高い意識を持ちながら取組むよう指導に努めたい。
- 18 80.4%の生徒から肯定的な回答が得られているが、背景には新型コロナウイルス感染症が5類へ移行され、様々な社会活動が再開されたことも、結果に反映されていると考えられる。
- 20 生徒は80.4%と前年同期比約11ポイント向上している。コミュニティ・スクールとしての取組と活動の成果が、総合的な探究の時間における有意義な学びに繋がっている。今後も地域の方々の協力をいただきながら継続的に取組んでいきたい。
- 21 生徒は76.8%と前年度同期比約5ポイント上昇している。この傾向は、コミュニティ・スクールとして地域の方に支えられ学んでいることに感謝し、地域への社会貢献活動を実践しようとする気持ちを持てるようになってきたと考えられ、今後も継続的な取組を進めていきたい。

【下半期に向けて】

今回のアンケート結果を踏まえ、次のような点を重点事項として取り組んでいくことを考えております。

- (1) 生徒の家庭学習習慣の更なる定着を図るため、継続的に宿題や課題を課すとともに、手帳に学習時間を記録させるなど、自己管理と自主性を促す。また、探究活動を通じて、学びを深めるためには、基礎的な学力や知識が重要であることを意識させることで、家庭を含めた様々な場面で自らの興味関心に沿った学びができるように意識の変革を目指し、家庭学習の定着に努める。
- (2) アンケートの結果から規則やルールに対する規範意識が後退していることから、社会のルールや規則について考える機会を設け、社会の一員であること自覚させ、行動規範の重要性を考えられるよう自主性を促す。
- (3) 授業や学校行事、地域の方とのふれあい等を通して、地域愛を育み、湖南地区をより理解する授業を実践する。
- (4) 読みやすい、親しみやすい広報紙、ホームページにするための工夫を進めるとともに、「note つくる、つながる、とどける」(リンク先)を有効的に活用する。
- (5) 保護者へ文書が渡るよう、生徒への指導徹底を行うとともに、重要な文書については、内容や目的、重要性等について、しっかり生徒へ説明をしながら配布する。
- (6) 湖南の住民とともに魅力あるコミュニティ・スクールにしていくなため、湖南の人的・物的資源を生かした教育活動を実践する。

【あしがき】

令和5年度はコミュニティ・スクール4年目になりました。19名の新入生を迎え、生徒たちは毎日、元気に、充実した学校生活を送っています。

本校では生徒への進学や就職のための課外学習、学力アップ学習会、そして、コミュニティ・スクールの取組である蕎麦プロジェクトの「そばの種まき」などを実施しています。今後も人間性の育成と能力の伸長を目指し、生徒の自己実現のためにも、様々な校内校外活動に積極的に取り組んでまいります。